



ザンビアの経済概況・月報(2016年8月)

主なマクロ経済指標	2015年	2016年
1. 人口 (百万人)	15.72(2014)	-
2. 人口増加率 (%)	3.15 (2014)	-
3. 失業率 (%)	7.4(2014)	-
4. 平均寿命 (年齢)	50.5(男性)/53.8(女性)	-
5. GDP (百万米ドル)*1	26,963(2014)	-
6. GDP成長率 (%)	3.6(est)	3.8(proj)
7. 一人当たりGNI (米ドル)	1,710(2014)	-
8. インフレ率 (%)	10.1	19.6(Aug)
9. 消費者物価指数 (2009年=100)	155.82	184.07(Aug)
10. 貿易収支 (百万米ドル)	-717.00	-420.31*2
11. 対日貿易収支 (百万米ドル)	-26.90*4	-10.97*3
12. 輸出 (総額, 百万米ドル)	6,997.00	3744.37*2
13. 対日輸出 (百万米ドル)	46.34*4	13.37*3
14. 輸入 (総額, 百万米ドル)	7,714.00	4164.68*2
15. 対日輸入 (百万米ドル)	73.24*4	24.33*3
16. 経常収支 (百万米ドル)	-360 (2014)	-
17. 対外直接投資 (百万米ドル)	-213 (2014)	-
18. 対内直接投資 (百万米ドル)	2,484(2014)	-
19. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	2,968	2,372(proj)
20. 対外債務残高 (百万米ドル)	7,373(2014)	-
21. 為替レート (対米ドル)	10.98ZMW(end-period)	10.01ZMW(Aug)
22. 主要政策金利 (現行, 年利%)	13.0	15.50 (May)

※() 内の年月は、その年あるいは月の確定値・予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

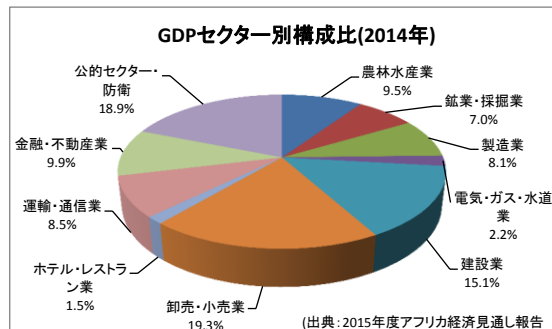
*1	GDP at market prices (Current USD)
*2	2016年1月から7月までの累計額。1USD=10.60ZMW(2016年7月までのザンビア中央銀行為替相場月間平均)を用いて換算
*3	2016年1月から7月までの累計額。1USD=116円(2016年7月までの日銀基準外国為替相場月間平均)を用いて換算
<2016年7月>	
主要輸出品目: 銅・携帯回線用及びその他の無線回線用電話/金(半製品)/綿花/コバルト	
主要貿易相手国(輸出): スイス 39.4%, 中国 17.5%, 南アフリカ 8.5%, アラブ首長国連邦 7.5%, コンゴ(民) 5.8%, その他 21.3%	
主要輸入品目: 銅・原油・携帯回線用及びその他の無線回線用電話/肥料/コバルト	
主要貿易相手国(輸入): 南アフリカ 34.7%, コンゴ(民) 14.3%, 中国 6.5%, クウェート 5.5%, インド 5.1%, その他 33.9%	
*4	1USD=121円(2015年(平均値)の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
<出典> 1, 2, 5-7, 8(2015), 20(2015): World Bank/3: Zambia Labour Force Survey Report, 2014 (CSO& Ministry of Labour and Social Security)/4, 16: The World Factbook (CIA)/8(2016), 9, 10(2016), 12(2016), 14(2016): Monthly Bulletin (CSO)/10(2015), 12(2015), 14(2015), 19, 21(2015): Country Report 2016 (EIU)/11, 13, 15: 日本国財務省貿易統計/17, 18: UNCTAD/21(2016), 22: Bank of Zambia	

<ザンビアの税制度～鉱業関連～>

(出典: ザンビア歳入庁(ZRA), ザンビア採取産業透明性イニシアティブ(ZEITI))

- 法人税(Corporate/ Company Tax):** 35%。
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT):** 16%。
- 採掘権料 (Mineral Royalty):**
4-6%(ロンドン金属取引所(LME)の銅価格に応じて変動)。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):**
関税は商品(コモディティ)毎により、0-25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax):** 15%。

※鉱業権を有する者は、採掘や鉱業関連の活動に必要な全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。



主要な経済ニュース(8月)

1. “ムルングシ繊維工場が再開” (Times, 2日)

1日、ルング大統領は、向こう5年間で2万人以上の雇用創出を目指し、カプウェのムルングシ繊維工場の操業を正式に再開させた。産業開発公社(IDC)及びそのパートナーは、約10年前に閉鎖した同工場の改修及び最先端技術の提供に1,500万米ドルを投資する見込みである。

2. “マーンバ石炭火力発電所、操業開始” (Times, 8日)

7日、南部州シナゾングウェニ位置するマーンバ石炭火力発電所の150メガワット発電機1基(注: 同発電所は300メガワットの発電能力を有する発電所であり、計2基の発電機が設置される)の操業式が開催され、ルング大統領は、同発電所の操業により、計画停電が大幅に縮小される旨発言した。ルング大統領は、同発電所の操業について、エネルギーセクターの多様化を目標とするザンビア政府の決意の表れであると発言した。また、同大統領は、ザンビア政府が、投資家の懸念事項となっているコストを反映した電気料金にかかる課題に間もなく対処する旨発言した。

3. “銅の産出量、増加” (Daily Mail, 12日)

9日、チシンバ・ザンビア鉱山業会(ZCM)会長は、カルンビラ鉱山の産出量増加、鉱山税制の改正及び財政の安定性を背景として、ザンビアの2016年前期の銅産出量が2015年同期比8%増の36万8,371トンを記録した旨発表した。

4. “ルサカ・カフェ給水プロジェクト、開始” (Daily Mail, 18日)

シカリンダ・ルサカ上下水道公社(LWSC)広報担当官は、総額1.5億米ドルのルサカ・カフェ間の水道管建設工事を開始した旨発言した。なお、同プロジェクトは2年後に完了する予定となっている。

5. “日本、300億米ドルをアフリカに投資” (Times, 29日)

27日、安倍総理大臣は、ケニアで開催中のTICADVIサミットにて、日本が今後3年間、約100億米ドルのインフラ開発を含めた、総額300億米ドルをアフリカに対して投資していく旨発言した。安倍総理は、今般の会議(TICADVI)にて、ケニヤッタ・ケニア大統領、ズマ・南アフリカ大統領などアフリカ各国の首脳と会談する。過去5回のTICADは全て日本で開催され、アフリカ開催は今回が初めてとなる。

6. “IDC及び日本企業、繊維関連の覚書に署名” (Daily Mail, 31日)

ザンビア産業開発公社(IDC)及び丸紅は、カプウェのムルングシ繊維工場の再建にかかる覚書(MoU)に署名した。28日、シアメIDC取締役役事業本部長は、MoU署名は、繊維工場の再生に必要な日本からの機材購入のための土台作りとなる旨発言した。同署名式には、ケニヤッタ・ケニア大統領及び安倍総理らが同席した。

7. “ZDA、日本の銀行とパートナー関係に” (Times, 31日)

ザンビア開発庁(ZDA)は、ナイロビで開催されたTICADVIIにて、みずほ銀行との覚書(MoU)に署名した。同MoUは、貿易・投資にかかるZDA及びみずほ銀行間の協力関係の促進を狙いとしたもの。MoU署名式には、ザンビア政府首席代表であるシアメ商業貿易産業省次官も同席した。

【政治関連情報】ルング大統領が再選

8月11日、ザンビアで大統領、国民議会議員を含む総選挙が実施され、大統領選挙ではエドガー・ルング候補(与党愛国戦線(PF), 現職)が有効票の50.35%を得て2015年1月の補欠選挙に続く当選を果たし、今後5年の任期を務めることとなった。今回の大統領選挙では、僅差で敗れた野党国家開発統一党(UPND)のヒチレマ候補が選挙結果に対して異議申立てを行ったが、その後、憲法裁判所が審理の結果、異議申立てを棄却したことで選挙結果が確定した。

また、同日行われた国民議会議員選挙でも与党PFは156議席中80議席を獲得し、過半数を確保した。